

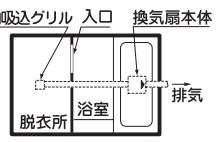
1.本体の取付け方向

■本体の取付け方向を決めます。

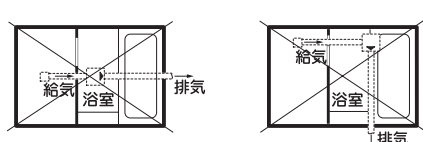
下図(良い例)のように、本体刻印の▲マークが、浴室壁面に最も近くなるように本体を取り付けます。

<本体の取付け位置参考図(浴室内上面図)>

●良い例



●悪い例

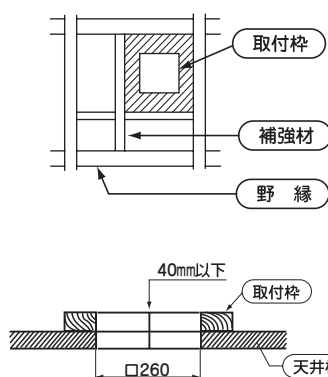


2.天井板の穴あけ

●換気扇の取り付け位置を決めた後、天井板に260mm角の穴をあけます。換気扇は、結露水が滴下しても不快にならない場所をお選びください。

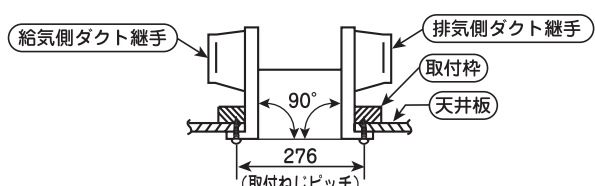
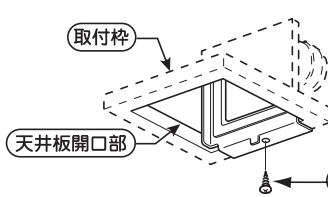
3.取付枠の取り付け

- 取付枠内の寸法に合わせて取付枠を作り、天井板の穴に合わせて取り付けます。取付枠は30mm角を使用してください。
取付枠内の寸法：260mm角
- 製品の重さが十分支えられるように補強材を使って野縁に固定します。
- 図のように、取付枠と天井板の厚みを合わせたとき40mm以下となるように天井板を選定してください。本体およびダクト継手は天井板の下側に直接取り付けしてください。



4.ダクト継手の取り付け

- ① 本体からダクト継手を外します。
- ② ダクト継手からテープ(白色)を外します。
- ③ 給気側ダクト継手は3方向選択できます。
取り付ける方向を決めます。
- ④ 天井板の下側から取付枠の内側に付属の木ねじで固定してください。



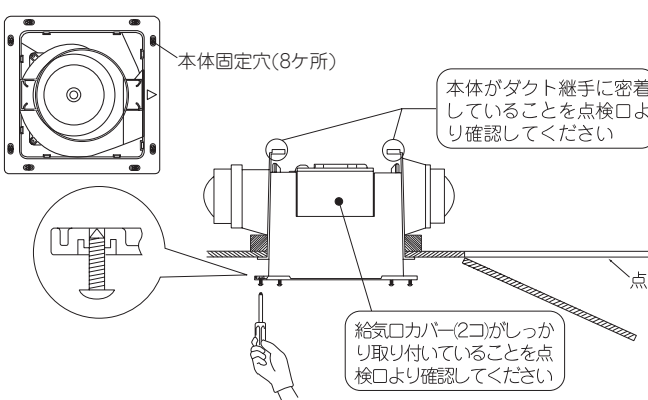
●注意

- ダクト継手が垂直になるように取り付けてください。垂直に取り付けませんと本体が取り付けられなくなります。
- 必ず屋内側ダクトに給気ダクト継手、屋外側ダクトに排気ダクト継手を取り付けてください。また、給気ダクト継手と排気ダクト継手の取付ねじピッチは276mmとしてください。

5.本体の取り付け

■付属の木ねじで固定します。

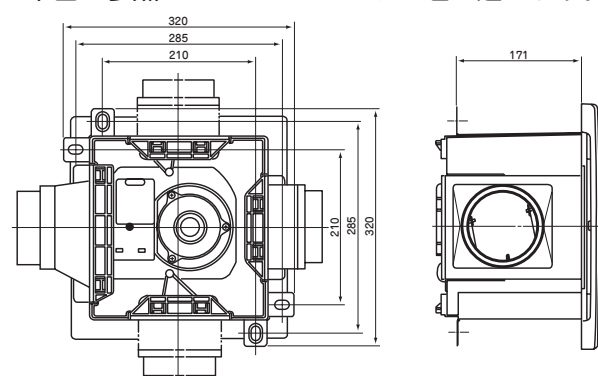
- ① 本体を取り付け前に、付属のねじ(8本)を本体固定穴にしっかり差し込みます。
- ② 本体をダクト継手に沿わせてはめ込み、本体をしっかりねじで固定してください。このとき、ダクト継手が垂直に取り付いていることを確認してください。
- ③ 本体がダクト継手に密着していることを点検口より確認してください。
- ④ 給気口カバー(2コ)がしっかり取り付けられていることを点検口より確認してください。



6.吊り金具を併用する場合

■吊り金具で固定する場合

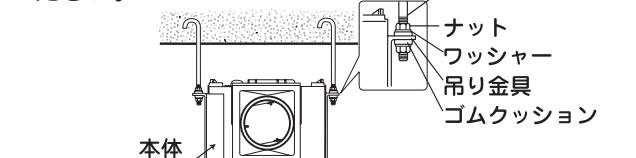
- 吊り金具は付属品を使用します。
- 下図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。



●本体穴を使用し、本体に吊り金具を取付ねじで固定してください。



●吊り金具をアンカーボルトに取り付けてください。ダクト用換気扇が水平になるように取り付けてください。

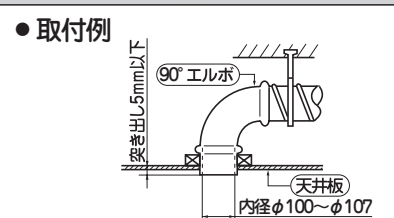


7.ダクト継手とダクトの接続

●接続ダクトは下表のものからお選びください。

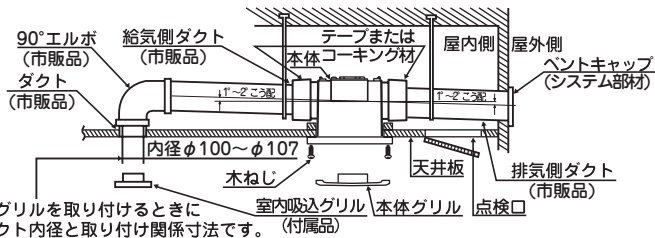
塩化ビニル管	VPφ100(内径100mm)
アルミ製ダクト	VUφ100(内径107mm)
鋼板製ダクト	呼び径(内径100mm)

●室内吸込口側は90°エルボ(市販品)を使用し、右図のように取り付けてください。



●接続部をテープまたはコーキング材で密封してください。排気側ダクトは屋外側に1°~2°下りこう配にし、給気側ダクトは本体側に1°~2°下りこう配にしてください。

●取付例



●注意

ダクトとダクト継手をテクスネなど止めないでください。シャッターにねじが当たり、シャッターが開かなくなることがあります。

△ 注意



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う

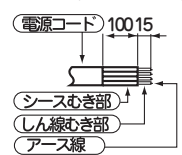
- 誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



浴室内に壁スイッチを設けない

- 感電の恐れがあります。

- VVFケーブル(φ1.6またはφ2)の先端を下図のように加工します。
- VVFケーブルの先端を速結端子に接続します。

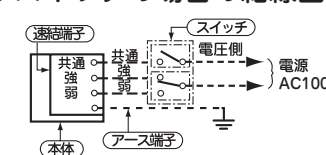


●注意

- 結線図および速結端子カバーの刻印に従って正しく結線してください。
- しん線が見えなくなるまで十分に差し込んでください。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
- 水気のある場所に取り付ける場合はアースのほかに漏電遮断器を付けてください。
- アース線をガス管・水道管および電話線・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
- スイッチは両切りスイッチを使用してください。片切りスイッチを使用する場合は、必ず電圧側に取り付けてください。
- 速度調節付き結線の場合は、結線をまちがえすと、モーターが焼損いたしますので、結線図とおり正しく結線してください。結線後、羽根の回転方向を確認してください。

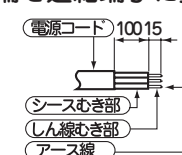
	下側から見たときの回転方向	
	強ノッチ	弱ノッチ
羽根の回転方向	左回転	

■片切りスイッチの場合の結線図



■単ノッチで使用する場合

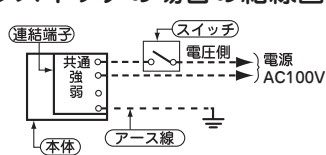
- VVFケーブル(φ1.6またはφ2)の先端を下図のように加工します。
- VVFケーブルの先端を速結端子に接続します。



●注意

- 結線図および速結端子カバーの刻印の「共通」と「強」および●(アース)へしん線が見えなくなるまで十分に差し込んでください。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
- 水気のある場所に取り付ける場合はアースのほかに漏電遮断器を付けてください。
- アース線をガス管・水道管および電話線・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
- スイッチは両切りスイッチを使用してください。片切りスイッチを使用する場合は、必ず電圧側に取り付けてください。

■片切りスイッチの場合の結線図



グリルの取り付け

1.グリルの取り付け

△ 注意



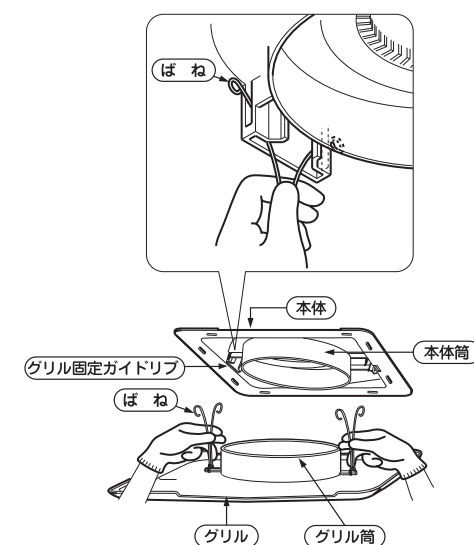
羽根や部品の取り付けは確実に行う

- 落下によりけがをする恐れがあります。

- グリルには2つのばねが付いています。まず、片方のばねをつかみ、ばねをせばめ、本体のグリル固定ガイドリブに差し込みます。次に、他方のばねを同様の手順で差し込み、グリル筒を本体筒に合わせて軽くグリルを押し込みます。

●注意

グリルは確実に固定してください。グリルは確実に固定されていないと落下によりけがをする恐れがあります。



2.室内吸込グリルの取り付け

- ① 天井板に口115mm角の穴をあけます。取付枠内の寸法に合わせて、取付枠を作り、天井の穴に合わせて取り付け固定します。
取付枠内の寸法：115mm角

●天井板の板厚は10mm以下にしてください。

- ② ベースからグリルを取り外します。

●ベースを付属の木ねじ(φ4×20)4本で取付枠に確実に固定してください。

- ③ ベースに付属のパッキンをはり付け、ダクトにベースを押し込みます。

●グリルの手掛部をグリルベースの切欠部に合わせて上に押し上げ取り付けます。

- ④ 取り付け位置のまま引いてみて、グリルのツメが確実にグリルベースに引っかかり、抜けがないことを確認してください。

△ 注意



羽根や部品の取り付けは確実に行う

- 落下によりけがをする恐れがあります。

●注意

グリルは確実に固定してください。グリルは確実に固定されていないと落下によりけがをする恐れがあります。

以上で、換気扇の取り付けが完了しました。次の取り付けと運転について確認をしてください。

- 製品の取付強度が十分であること。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- シャッターが開きダクトから風が出ること。

システム部材

システム部材は取付方法により必要になります。詳しくはカタログをご覧ください。

結線方法

△ 警告



アースを確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



交流100V以外では使用しない

- 火災・感電の原因となります。

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒106-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム

〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町3番地AKSビル
電話(03)3445-6000(代)